

スミチオンゴキラート® FL



特長

- スミチオンによる安定した致死効果
- ゴキラートによる優れた速効効果
- 新しい製剤技術で残効性を向上
- 環境に優しい水性製剤

有効成分

- スミチオン(一般名 フェントロチオン) 5.0%
- ゴキラート(一般名 d・d-T-シフェノリン) 0.5%

用法・用量

目的に応じて水で希釈し、一般に害虫の生息又は発生場所に対して使用する。

ハエ・蚊成虫

直接噴霧: 通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。

ゴキブリ

1㎡につき10倍液50mLの割合で、重点的にゴキブリの潜み場所あるいはよくはい回る場所に残留塗布又は噴霧する。

ノミ、トコジラミ(ナンキンムシ)、イエダニ

1㎡につき10倍液50mLの割合で害虫の生息又は発生場所に対して残留塗布又は噴霧する。

スミチオンゴキラート®FLについて

スミチオンゴキラート®FLは有機リン系殺虫剤のフェニトロチオンとピレスロイド系殺虫剤のd・d-T-シフェントリンを配合することにより、速効性と残効性を両立させた水性懸濁剤(フロアブル剤)です。本剤は、抵抗性を持ったしぶといゴキブリの駆除はもちろん、ハエ・蚊成虫などにも卓効を示します。水性製剤なので刺激や臭気が、従来の乳剤に比べて大幅に低減されています。



効力 実地効力試験

豊中市内の飲食店(チャバネゴキブリ生息面積53㎡)でスミチオンゴキラート®FLを処理した。

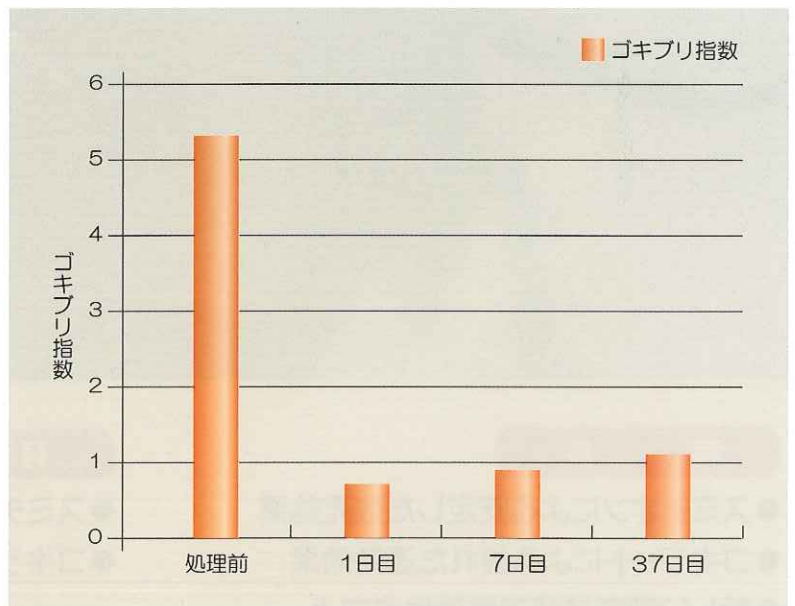
試験方法

試験実施場所の壁面などゴキブリの潜み場所に、10倍水希釈液を50mL/㎡の割合で噴霧した。効果の判定はトラップを設置し、ゴキブリ指数※を調べた。

試験結果

処理前のゴキブリ指数が5.35と高い飲食店の厨房において、処理後1日目で0.72、7日目で0.91と優れた速効的な駆除効果が得られ、37日目でも1.11と駆除効果は持続した。実場面においても有効である事が確認できた。

※ゴキブリ指数=(捕虫数/トラップ設置日数)/トラップ数



安全性

製剤毒性

急性毒性 ラット経口 LD50 ♂♀300~2000(mg/kg)
ラット経皮 LD50 ♂♀>2000 (mg/kg)

環境影響情報

有効成分フェニトロチオン

魚毒性 ニジマス LC50 1.3ppm (96hr)

有効成分d・d-T-シフェントリン

魚毒性 ニジマス LC50 0.38ppm (96hr)

取り扱い代理店

SES 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社

〒541-0045

大阪府大阪市中央区道修町2-2-8

TEL 06-6223-7537

FAX 06-6223-7538